

地域の絆を深め、市民パワーによる

「住みよき日本一」のまちづくり

守谷市長 会田 真一

2013年1月



謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

皆様におかれましては、希望に満ちた新年をお迎えのことと、心からお慶びを申し上げます。

昨年は、市制施行10周年の節目の年を迎え、市民組織の実行委員会において、さまざまな記念事業を実施していただきました。記念式典を始めとする各種記念事業の展開により、多くの市民の皆様とともに「10周年」を祝福することができましたことに、感謝を申し上げます。

また、「質の高い環境・景観の保全・創造による住みよいまちづくり国際賞」（通称リブコム）において、銀賞を獲得することができました。リブコムとは、自治体のまちづくりの成果を表彰する世界で唯一のコンテストであり、国際的にも本市のまちづくりが高い評価を得ることができました。

そして、全国高等学校総合体育大会の剣道女子団体において、守谷高校が2年連続4回目の優勝を果たし、さらに全国中学校体育大会ハン

ドボール女子の部では、けやき台中学校が春夏連覇を達成するなど、2012年は守谷市にとって活気に満ちた一年となりました。

さて、本年は長引く景気低迷の影響に加え、引き続き放射線対策への取り組みが必要となっており、厳しい財政状況の中ではありますが、全庁を挙げて改革・改善に取り組み、効率的で効果的な行政運営に努めてまいります。

具体的な施策としては、医療費助成の拡大や待機児童解消を目的とする民間保育園の新規開設等による「子育て支援のさらなる充実」、地域包括支援ネットワークの構築や防犯活動体制の連携強化等による「安全で安心して暮らせるまちづくりの推進」、保幼・小・中・高連携した教育制度の導入や私立小中高一貫校の誘致促進等による「将来を担う子どもたちのためのさらなる教育の充実」、一般家庭への住宅太陽光発電システム設置補助金導入や松並土地区画整理事業地区での低炭素型まちづくりの推進等による「環境に

やさしいまちづくりの推進」、不妊治療費の助成による「新しい命を育むための支援」等を重要課題として位置づけ、本年も市民の目線に立つた事業を展開してまいります。

今後も、スタートから2年目を迎える「第二次守谷市総合計画」に定めた市の新たな将来像「緑きらめき人が輝く 絆つながるまち もりや」の実現を目指してまいります。さらには、市民の皆様とともに策定いたしました「地域福祉計画」と「地域福祉活動計画」を着実に実行するため、市職員がそれぞれの地域を担当する「地域担当職員制度」を定着させ、行政と市民の皆様が一緒になり、地域の絆を深め、協働による地域づくりを進めてまいりたいと思います。そして再び「住みよき日本一」を目指し、各種事業に取り組んでまいりますので、市民の皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、皆様方のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、新年のごあいさついたします。

守谷市民憲章

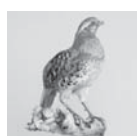
わたしたちは、利根・鬼怒・小貝の清流と豊かな緑につつまれた歴史と伝統に輝く守谷の市民です。この郷土を愛し、健康で明るく住みよい文化都市を目ざして、ここに市民憲章を定めます。

- 一、水と緑に親しみ、自然を愛し、美しいまちをつくります。
- 一、豊かな心を育て、体をきたえ、健康なまちをつくります。
- 一、教育文化をたかめ、個性をのび、うるおいのあるまちをつくります。
- 一、明るい家庭をきずき、きまりを守り、平和なまちをつくります。
- 一、互いに助け合い、責任を果たし、生きがいのあるまちをつくります。

（平成2年11月制定）
（平成14年2月継承）

◆市の鳥

小綬鶏
(こじゅけい)



◆市の花

山百合
(やまゆり)



◆市の木

松
(まつ)

